

説教題：神の恵みの栄光のために - 感謝を持ってイエスと共に歩む

OIC の皆さん、お早うございます。そして父の家によろこ
今日も引き続き、聖霊の靈感を受けて使徒パウロが書いた手紙、エペソ書を読んでいきま
す。前回のメッセージでは、パウロがどのようにエペソの信徒に、したがってすべての
クリスチャンに、クリスチャン生活を送るための指示を与えたかを見ました。今週は、
「神の恵みの栄光のために-感謝を持ってイエスと共に歩む」というタイトルで、クリス
チャンとしての歩みをするためのパウロの指示をさらに見ていきたいと思いま
す。まず、神様が私を OIC の牧師に任命してくださったことへの感謝から始めたいと思いま
す。大阪に着任して以来、私と私の家族に対する皆さんの愛とテnder・ラビング・ケ
ア (TLC) に圧倒されてきました。エペソ書は主に励ましの書ですが、前にも言ったよ
うに、悪との戦い方を学ぶ書でもあります。親愛なる OIC 聖徒の皆さんが、私のメッセ
ージによって励まされることを祈っています。
しかし、神の言葉、パウロの言葉、意図を変えることはできません。第 3 次伝道旅行の
際、パウロはエペソに約 3 年間滞在しました。3 年目、エペソの町は、パウロに対して
暴動を起こしました。彼は、暗闇の中に隠れていたサタンの行いを暴いたのです。
(使徒 19. 26) で銀細工人のデメテリオについて語られています：「ところが、皆さんが
見てもいるし聞いてもいるように、あのパウロが、手で作った物など神ではないと言っ
て、エペソばかりか、ほとんどアジア全体にわたって、大ぜいの人々を説き伏せ、迷わせ
ているのです。」その結果、パウロの仲間が殴られる暴動が起こり、パウロの命も危険に
さらされました。エペソに対するパウロの愛が、この手紙の中で、すべてのクリスチャ
ンが霊的な戦いの中にいることを思い出させたのです！ 私は、あなたがエペソ書から、
そして私のメッセージから、イエスに近づき、勝利する兵士として歩むために励まされる
ことを学んだことに感謝するよう祈っています。

さて、前回のメッセージの釈義と私の結びの言葉を復習しておきましょう。
パウロはエペソの信徒への手紙 5 章の最初の節で、クリスチャン生活を送る上で決してや
ってはならない活動があることを明らかにしています！ In (エペソ 5. 12-14) : 「12 な
ぜなら、彼らがひそかに行なっていることは、口にすることも恥ずかしいことだからです。
13 けれども、明るみに引き出されるものは、みな、光によって明らかにされます。14 明
らかにされたものはみな、光だからです。それで、こう言われています。「{そして、イ
ザヤ書のいくつかの節に触発されながらキリストを加えました、1 世紀の「ポピュラー
な」賛美歌を引用し、聖書的なポイントを手紙の読者の心に定着させるのに役立てまし
た。}眠っている人よ。目をさませ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストが、
あなたを照らされる。」」

OIC 礼拝で歌う歌は、私たちの心を形成し、私たちの目をイエス様に向けるために、神様
の御手の中で力強く歌われます。また、礼拝チームは神の御言葉を説いています。親愛

なる OIC の聖徒の皆さん、彼らを当たり前と思わず、彼らのために祈りましょう！**神様に感謝し、祝福されましょう！**

上記の 1 世紀の賛美歌は、クリスチャンに「眠れる者よ、目を覚ませ」、つまり「怠惰」や霊的な怠けに対して行動し、祈るように戒めています。 私たちがイエスと共に歩むとき、御霊はイエスの言葉や霊的な眠りについて私たちに思い出させてくださいます。**(マタイ 24. 42-44)**：「42 だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。43 しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押し入れはしなかったでしょう。44 だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。」

イエスが間近に迫り、予期せぬ再臨を果たすことを期待することは、私たち全員の霊的覚醒を維持し、パウロの手紙の次の箇所を読むための良い前奏曲となります。**(エペソ 5. 15-16)**：「15 そういうわけですから、賢くない人のようにではなく、賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し、16 機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。」

パウロはここで、あなたがたは、どのように生きるか、注意深く、不注意な決断をしないようにしなさい。 このような行いとは、姦淫のような性的不純や、私たちの身の回りにあるオカルト宗教のことです。 不品行とは、結婚せずに異性と性的関係を持つことです。 これらの罪や不純を特徴とする生活によってクリスチャンの救いが失われる可能性があることは**(エペソ 5. 5)**の警告で明らかです：「**5** あなたがたがよく見て知っているとおり、不品行な者や、汚れた者や、むさぼる者——これが偶像礼拝者です。——こういう人はだれも、キリストと神との御国を相続することができません。」。 クリスチャンが行動パターンを変えるのにこれだけでは不十分なら、**(マタイ 24. 44)**にあるように、あなたが不品行やオカルト行為をしているとき、イエスが雲の中にあなたに現れたことを想像してみましょう。 こうして**動機づけられた聖霊は、あなたが従うのを助けてくれます。****(エペソ 5. 15-16)**：「15 そういうわけですから、賢くない人のようにではなく、賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し、16 機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。」特に日本の兄弟姉妹に強調したいのは、あらゆる機会を最大限に生かすことは、あらゆる物事において「完璧さ」を強調するこの社会によって多くの日本人が強いられている、容赦なく追い込む態度ではないということです。 皆さんの中には、「親切的な」上司や指導者をお持ちの方もいらっしゃるでしょう。 **イエスとともに歩む中で、その祝福を神に感謝しましょう。**

注意深いクリスチャンは、聖霊が機会を示していることを感じ取ります。 それは新しい知人であったり、地方教会で必要とされている働きであったり、イエスがあなたの心をノックしてささやくことであったりします：「聖人、頑張れ！」

教訓その 1

イエスの予期せぬ、つまり差し迫った再臨について教えられたことを受け入れることは、信者を聖なるクリスチャン生活に駆り立てます。 これはマタイ 24 章の態度であり、主の

再臨までの時間を予測することとは無関係です。あなたが罪の誘惑に駆られたとき、主の再臨を想像することは、あなたがイエスと共に歩み続けるための聖霊の助けへとあなたを開くはずです。

次にパウロは書いています。(エペソ 5.17)：「17 ですから、愚かにならないで、主のみこころは何であるかを、よく悟りなさい。」 OIC 水曜聖書研究会で、「Finding Your Calling」というテーマで教えています： **自分の召命を見つける** というテーマで教えています。これらの教えは、永遠の光に照らされた人生の目的に焦点を当てています。しかし、今の箇所で主の御心とは何かと言え、不純な生活ではなく聖なる生活といった日常生活を指しています。神の超自然的なものではなく、自然に限定された適切な、あるいはふさわしい数学的な用語があります。しかし、私たちがイエスとより緊密に歩むことで、それが意味を成すと私は信じています：全体は常に部分の総和に等しい。これは、あなたが日々イエスとの交わりを求めることが、あなたの人生に対する神の呼びかけを知ることと連動し、融合するという点で当てはまります。神は、私の神学的・牧会的教えの中ではなく、このことをしばしば私に思い出させてくださいました。しかし、私の日常生活では K.I.S.S... 「キープ・イット・シンプル・セイント！ 1990年代に作られたこの賛美の歌は、私を助けてくれます：

神よ、あなたは私の神よ

そして私はあなたを賛美します

神よ、あなたは私の神

私はあなたを賛美します

わたしは朝にあなたを求め

あなたの道を歩むことを学びます

一步一步、私を導いてくださいます

わたしは日々、あなたに従います

パウロは今、クリスチャンが避けなければならない罪深い行為を次のように強調しています。(エペソ 5.18)：「18 また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。」

イエスの地上での最初の奇跡は、婚礼の宴で母親が必要とした水をワインにしたことでした。(ヨハネ 2.1)を読みましょう：「1 それから三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、そこにイエスの母がいた。2 イエスも、また弟子たちも、その婚礼に招かれた。3 ぶどう酒がなくなったとき、母がイエスに向かって「ぶどう酒がありません。」と言った。4 すると、イエスは母に言われた。「あなたはわたしと何の関係があるのでしょうか。女の方。わたしの時はまだ来ていません。」5 母は手伝いの人たちに言った。「あの方が言われることを、何でもしてあげてください。」6 さて、そこには、ユダヤ人のきよめのしきたりによって、それぞれ八十リットルから百二十リットル入りの石の水がめが六つ置いてあった。7 イエスは彼らに言われた。「水がめに水を満たしなさい。」彼らは水がめを縁までいっぱいにした。8 イエスは彼らに言われた。「さあ、今くみなさい。そして宴会の

世話役のところに行って行きなさい。」彼らは持って行った。9 宴会の世話役はぶどう酒になったその水を味わってみた。それがどこから来たのか、知らなかったの、——しかし、水をくんだ手伝いの者たちは知っていた。——彼は、花婿を呼んで、10 言った。

「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、人々が十分飲んだころになると、悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒をよくも今まで取っておきました。」

注：10 節にあるように、絶妙な味やオイシイ味に対する飲用者の感受性が明らかにされているように、それは「ぶどうジュース」ではなかったのです。新約聖書は、アブラハム、イサク、ヤコブの神に忠実なすべてのユダヤ人にとって明確であったことを明確にしています。それは、酒を飲まずに酔うことは、人とその家族、そして主を辱めるということです。パウロは、イエスがその教えを復活後も続けていることを示しています。パウロは、酔っぱらいは性的な罪や放蕩に対する抑制力が低下しているという事実を付け加えています：(Thesaurus.com-墮落-放逸-過剰-姦淫-大食-放縦)。パウロがぶどう酒を飲むことを容認していることは、(テトス 1.6-8)でも明らかです。：「6 それには、その人が、非難されるところがなく、ひとりの妻の夫であり、その子どもは不品行を責められたり、反抗的であったりしない信者であることが条件です。7 監督は神の家の管理者として、非難されるところのない者であるべきです。わがままでなく、短気でなく、酒飲みでなく、けんか好きでなく、不正な利を求めず、8 かえって、旅人をよくもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、敬虔で、自制心があり、」

牧師の警告：もしあなたが、キリストにあって生まれ変わる前に、酩酊の罪を犯していたなら、おそらく二度とワインやアルコール飲料を飲んではいけません。あなたの良心がそう言うのでしょう。(ローマ 14.22-23)：「22 あなたの持っている信仰は、神の御前でそれを自分の信仰として保ちなさい。自分が、良いと認めていることによって、さばかれない人は幸福です。23 しかし、疑いを感じる人が食べるなら(あるいは、アルコール類の飲料を飲むこと)、罪に定められます。なぜなら、それが信仰から出ていないからです。信仰から出ていないことは、みな罪です。」

ですから、もしあなたがキリストに生まれ変わる前に、性的欲望や姦淫、ポルノの罪を犯していたなら、他のクリスチャン男性が注意深く見ることができる映画やテレビ番組も含めて、ポルノに近づくことを避けなければなりません。イエスと共に歩む中で、自分の弱さを正直に知りましょう！あなたを墮落に導く罪は、泥酔だけではありません！イエスがあなたをこの罪深いライフスタイルから救ってくださったことを感謝しながら、イエスに近づきましょう。

もう一度(エペソ 5.18)：「18 また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。」クリスチャンの内部における聖霊の臨在や満たしには、さまざまなレベルがあります。パウロがここで言っているのは、イエスの復活と昇天の後、ペンテコステの最初の日が起こったような完全な満たしです。聖霊に満たされることに伴って、未習の言葉で話す賜物が与えられると、耳を傾けていた群衆の中には、イエスの弟子たちが酔っぱらっていると非難する者もいました。(使徒 2.11-17)：「11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。」12 人々はみな、

驚き感って、互いに「いったいこれはどうしたことか。」と言った。13しかし、ほかに「彼らは甘いぶどう酒に酔っているのだ。」と言ってあざける者たちもいた。14そこで、ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々にはっきりとこう言った。「ユダヤの人々、ならびにエルサレムに住むすべての人々。あなたがたに知っていただきたいことがあります。どうか、私のことばに耳を貸してください。15今は朝の九時ですから、あなたがたの思っているようにこの人たちは酔っているではありません。16これは、預言者ヨエルによって語られた事です。17『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。』

このように、異言とともに聖霊に満たされることは、酔いの特徴を示しています。それは、大きな喜びの感情であり、同時に、内なる平安と力、イエスが誰であるかを世に伝えようという気迫です！クリスチャンがどのようなレベルの満たしを受けたとしても、イエスが誰であるかを世に伝えたいという願いは、すべてのクリスチャンの内に与えられています。このように、「御霊に酔う」ことは、ぶどう酒によってとは大きく異なる結果をもたらします。

イエスとの歩みの中で、神があなたに聖霊を与え、さらに与え続けてくださることに感謝しましょう。

(エペソ 5.19-20)：「19詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。20いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。」

.0ICのワーシップチームと会衆は、毎週日曜日に、神のよろこびを天に捧げるために音楽を捧げます。クリスチャン同士も歌を分かち合うことができます。また、御霊からの歌は、イエスがあなたの必要を満たすために、その瞬間にぴったりの歌を置いてくださることが多いのです。御霊はまた、特に霊的な攻撃を受けているときには、(ヨブ 35.10-11/KJ21)のように、眠っているときにも私たちを助けてくださいます：「10しかし、だれも問わない。「私の造り主である神はどこにおられるか。夜には、ほめ歌を与え、11地の獣よりも、むしろ、私たちに教え、空の鳥よりも、むしろ、私たちに知恵を授けてくださる方は。」と。」

17世紀の有名なキリスト教クラシック音楽の作曲家、ヨハン・セバスティアン・バッハは言った：「すべての音楽は神の栄光と魂の再創造のためにあるべきである。これは、彼の手稿の一番下に書かれていた！これは今でも音楽にとって真実です！

多くのクリスチャンは、すべての物事において神に感謝するのではなく、神に感謝することに違和感を感じています。このような聖徒たちは、「最愛の子供たち」である自分たちに対する悪魔の攻撃を、神がすべて防いでくださらないとは信じたくないのです。ギリシャ語新約聖書では、(エペソ 5.20/MOUNCE)私たちの主イエス・キリストの御名によって、父なる神に感謝します。ギリシャ語で申し訳ないが、どんな言語でも小さな単語は非常に強力であり、その意味を明確にしなければなりません。hyper という前置詞は主格または所有格です。つまり、私たちが神に感謝を捧げる「すべて」は、病気、危

険、試練、サタンなど、何か、あるいは誰かに所有されていなければなりませんハイパー (hyper) という単語には、次のような意味もあります。私は2つのギリシャ語訳を選びました： 1) 「for」 2) 「above」. これは、あるクリスチャンが主張するように、英語の「for everything」が「in」であるはずがないことを釈明し、浮き彫りにしています。神に感謝をささげることをハイパー、「すべてのものの上に」掲げるという意味も聖書的であるように思われます。ハイパーの意味を「for」と「above」のどちらを選ぶにせよ、サタンによる攻撃も含め、**クリスチャンとしての歩みにおける嵐や試練を神に感謝すること**に当てはまります。私は、クリスチャンが神が悪を行うことを示唆したくないことを理解しています。エペソ人への手紙6章の「神の全武具」のところで、彼のことをもっと詳しく説明するつもりです。私たちは、神が防がないサタンによる攻撃における私たちの課題は、神の御言葉を信じることであることを理解しなければなりません。(ローマ 8.37)：「37 しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な**勝利者**となるのです。」 私たちもまた、サタンの攻撃を受けて、次のことを信じるよう挑まれています。(ローマ 8.28/)：「28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」 アンドレ・クラウチが書いた歌にあるように、すべてのものに「神に」感謝します： Through It All の歌詞は聖書的であり、私の釈義によれば正しいです：

山に感謝し

谷にも感謝する

嵐が私を導いてくれたことを感謝する

もし私が問題を抱えたことがなかったら

神が問題を解決できることを知らなかったら

神への信仰が何をするのか、決して知ることはなかったら

成熟したクリスチャンは、イエスがアンドレ・クラウチにしたように、聖霊に体験的キリスト教を教えてもらっています。YouTube のアンドレ・クラウチ・スルー・イット・オール (ビリー・グラハム十字軍にて) で、彼の感動的な歌声と感動的な個人的証しを8分ほどかけて聴いていただきたいです。

次に、パウロは次のように服従の課題に入ります。(エペソ 5.21)：「21 キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。」すべてのクリスチャンは、イエスの霊を内に宿しています。クリスチャン同士は、提案や訂正、あるいは教え合いに関して、互いに謙遜でなければなりません。敬虔とは、すべての兄弟姉妹の中に生きておられる生ける神の御子キリストに対する聖なる畏敬の念です。

これは、教会における権威を軽視するための言い訳ではありません：**教会への男女の贈り物 (エペソ 4.11-12)**：「11 こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、」

まず第一に、キリスト御自身が、御自分の羊、御自分の体、すなわち地方教会であるクリスチャンを備えるために、御自分の血で洗われた赦された罪人、聖徒たちを**任命**されたのです。イエスの贈り物である指導者たちが「イエスに従う者たち」を訓練するためには、その権威にある程度服従しなければなりません。私は2024年8月4日のメッセージで、これらの任命されたリーダーを「人を通して教会に神の力が宿る」と表現した。

(NIVUK)版のサブタイトル「**Instruction for Christian households**」は、(エペソ 5.21)の前か上に置かれているが誤りです。クリスチャンの家庭は教会の外にあるのではなく、教会の中にあります！(エペソ 5.21)にあるように、家庭のすべてのメンバーは聖霊に耳を傾けるべきです：「キリストを敬い、互いに服従しなさい。」以下の聖句は、クリスチャン家庭における権威の構造を定めています。これは、家庭内の人間関係において、規則や律法ではなく、聖霊に導かれることを求めることに取って代わるものではありません。

クリスチャンの家庭で最も重要な関係は、夫と妻の関係です。パウロは、今私たちにこのことを教えています。(エペソ 5.22-24)：「22 妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。23 なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。」

この教えは、上記の聖句(エペソ 5.21)にあるように、クリスチャン家族に関するこれらの聖句を解釈するとき、「互いに従いなさい」という教えを捨てないようにすることを忘れてはならないのです。

ここでパウロは、創造主である神がアダムとエバという二人の被造物を土から、そしてアダムの肋骨から造られたと宣言した原点に立ち返っています。私たちは皆、ここから生まれたのです。私たちの本当の歴史を読みましょう(創世記 2.18-24)：「18 その後、神である主は仰せられた。「人が、ひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。」19 神である主が、土からあらゆる野の獣と、あらゆる空の鳥を形造られたとき、それにどんな名を彼がつけるかを見るために、人のところに連れて来られた。人が、生き物につける名は、みな、それが、その名となった。20 こうして人は、すべての家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名をつけたが、人にはふさわしい助け手が見あたらなかった。21 そこで神である主が、深い眠りをその人に下されたので彼は眠った。それで、彼のあばら骨の一つを取り、そのところの肉をふさがれた。22 こうして神である主は、人から取ったあばら骨を、ひとりの女に造り上げ、その女を人のところに連れて来られた。23 すると人は言った。{ヘブル語の言語は- WOW!すごい}「これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。これは男から取られたのだから。」24 それゆえ、男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。」

(創世記 2. 24) は、明らかに性的結合、結婚です。しかし、私たちがここで注目しなければならないのは、神が意図された目的であり、神がアダムの将来の(性的結合前の)妻として、どのようにエバの内面、すなわち心、魂、精神を創造されたかということです。神はエバをアダムの適切なヘルパーとして創造された。(創世記 2. 24/AMPC)では、アンプリファイド・トランスレーション(amplified translation)が、その意味をさらに詳しく説明しています。:「アダムはすべての家畜、空の鳥、野のすべての獣に名を与えた。;しかしアダムには、彼にふさわしい(適合した、補完的な)助け手が見つからなかった。」従って、家庭内の調和に関する神の計画は、妻が助け手であることだとわかります。家族においても、教会の家族においても、そして世俗的なビジネスにおいても、自分を支配する権威に服従することを拒否する労働者は、**助けてであることや役に立つことを破壊**することは明らかです。アメリカでは女性解放運動(ウーマン・リブ)によって、多くの女性がビジネスで成功しながらも惨めな思いをしています。それはビジネスでの成功からではなく、夫に対してビジネスの権威を家に持ち帰ったからです。これは夫婦の調和を破壊し、しばしば夫婦関係そのものさえも破壊します。(エペソ 5. 23-24)でパウロは神の権威の構造を宣言しています:「**23** なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。**24** 教会がキリストに従うように、妻も、すべてのことにおいて、夫に従うべきです。」

神の言葉、聖書のすべてがそうであるように、これは単なるルール以上のものです。文脈や場面は、イエスが夫と妻の心の王座にある結婚です。妻が神に服従する意志を示せば示すほど、夫は御霊に導かれて、夫が神から定められた権威を表明する必要性よりも、共働きと協力を頻繁にするようになります。彼がこのようなことをしなければならないのは、まれなことです。というのは、夫も妻も神の子だからです。(ローマ 8. 14):「**14** 神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです。」しかし、同意が得られない場合、クリスチャンの妻は、主イエスに服従しなければならないように、夫に服従しなければならないなりません。彼女が拒否することは、主に対して罪を犯すことです!

夫は、結婚の決定において自分の意見を自由に述べることのできる従順な妻を望んでいます。聖霊に敏感な夫は、イエスの「妻に服従しなさい」という指示を聞くことができます。これは、結婚をイエスとのエキサイティングな冒険にしてくれます。そうそう、結婚生活というのは大変なことも多いです。しかし、二人の中心におられるイエスが、そのすべてを価値あるものにしてくださるのです! 最近、私たちがワーシップ・チームのリードで「It Will Be Worth It All When We See Jesus」という歌を歌ったのを覚えているかもしれません。

教訓 その2

(エペソ 5. 21-24):「**21** キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。」この聖句は、新約聖書の中で最も従うのが難しい聖句かもしれません! イエスの教会のために任命された指導者たちの権威も、この聖句の適用に含まれなければならないなりません。とはいえ、この聖句は教会における最優先の命令であり、神が命じられた結婚においても同様です:

「22 妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。」そして「24 教会がキリストに従うように、妻も、すべてのことにおいて、夫に従うべきです。」

この聖書的権威構造を持たない結婚は、キリストが望んでおられるものではなく、夫と妻の結びつきとその結婚にある子供たちに影響を与える聖霊の力を欠いています。

パウロは、そこで、夫に神の教えを与えています。(エペソ 5.25-26) : 「25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、」

イエスの夫に対する要求も非常に難しいです。夫は、妻のために自分を捧げ、妻のために犠牲になり、同時に妻にも夫の権威に服従する態度を持つように求められています。これは明らかに、肉体を持った神であるイエスと、その花嫁である教会との関係を表しています。私たちはイエスに服従し、イエスは私たちのために死なれました！

私の例で恐縮だが、多くの日本人の夫にとって、アメリカ人と同様にスポーツ、特にサッカーや野球が重要であることは知っています。そこで、日本人の夫がこう言ったとしよう。君のためなら死ぬ！「妻はこう答えます。「この重いフライパンを動かしてほしいから、ちょっとロサンゼルス・ドジャースの試合を消してくれない？「ごめん、今は無理.....。大谷が打席に立つんだ！」。アメリカ人クリスチャンの夫は、アーロン・ジャッジが打席に立つニューヨーク・ヤンキースの試合を見ていることだろう..... 同じ答えだ！キリストが教会を愛し、教会のためにご自身を捧げられたように。もし私たちが、小さなことでも妻を犠牲的に愛することができなければ、大きなことでも妻を愛することはできないでしょう！

教訓 その3

クリスチャンである夫は、キリストが教会を愛したように、妻を愛するときにイエスの犠牲の死を心に留めておかなければなりません。十字架に磔にされるまでは、彼らの仕事は終わっていません！「10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるので。」(1 ヨハネ 4.10.)

教訓 その1 で書いたように、私たちは一周して、あるいはこのメッセージの最初に戻ってきました。イエスが予期せず、つまり間近に迫った再臨について教えられたことを受け入れることは、クリスチャンとして聖なる生活を送る動機となります。そして今、(エペソ 5.25b-27) : 「25 キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、...26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、27 ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。」

ミッション・インポッシブル 聖なるクリスチャン生活を送ることは、イエスが私たちのために死んでくださり、私たちをイエスの花嫁、教会にしてくださったからこそ可能なのです。

イエスは御言葉によって水で私たちを洗ってくださいました。聖書は私たちがそうだと書いています.. 神は私たちがそうだと書いています... だから私たちは聖になるのです。イエスの言葉にならない贈り物に感謝します!.... 感謝と共にイエスと共に歩みつつ

しかし、最善のものはまだこれから来ます。(エペソ 5.27): 「27 ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。」 イエスは、私たちの贖いの日、すなわち、私たちの体の贖い (apolytrōsin | ἄπολυτρωσις) の日に、私たち全員を、天の御父の栄光の玉座の前に、御父の聖なる花嫁として差し出してくださいます (ローマ 8.23/MOUNCE)。よみがえりの主に感謝しなさい、OIC 教会よ。 私たちもよみがえり、主の聖なる花嫁となり、私たちの夫であるイエスによって、しみもしわも、その他のどんな傷もなく、私たちの父である神に献げられるのです。」

今も、そして永遠に、イエスの聖なる花嫁として、感謝をもってイエスとともに歩む!

祈りましょう!...

参考文献

AMPC- Amplified Bible, & Classic Edition

Copyright © 1954, 1958, 1962, 1964, 1965, 1987 by The Lockman Foundation

EASY - Easy English Bible Copyright © [MissionAssist](#) 2019 - Charitable

Incorporated Organisation 1162807. Used by permission. All rights reserved.

MOUNCE - The Mounce Reverse Interlinear™ New Testament Copyright © 2011

by William D. Mounce. Used by permission. All rights reserved worldwide.

“Reverse Interlinear” is a trademark of William D. Mounce.

NIVUK - Holy Bible, New International Version® Anglicized, NIV® Copyright © 1979, c 1984, 2011 by Biblica, Inc., Used by permission. All rights reserved worldwide.